

平塚市子ども読書活動推進計画（第3次）実績報告【活動指標】

			事業名	事業概要	主な行動目標	H27	H27	H28	H28	H29	H29	H30	H30	R1	R1	R1年度実績	課題や今後の方向性	担当課
						目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
家庭における子ども読書活動の推進 重点取組Ⅰ	A	1	乳幼児を迎える家庭に向けた読書活動の啓発	医師会や産院に協力を依頼し、妊産婦検診等での読書活動の啓発の冊子の作成や広報を行います。	協力を依頼した団体数（団体）	4	4	4	4	5	5	5	5	5	6	市内の産科を扱う産婦人科とネウボールームに加え、4月から小児科を扱う医院にもブックスタートちらしの配布を依頼しました。	今後も引き続き、出産後の保護者へより広く呼びかけるため、関係機関と連携し、事業の周知を行います。	中央図書館
	B	2	ブックスタート事業	保護者に赤ちゃんと絵本を楽しむ時間を伝える子育て支援事業を実施します。	ブックスタートの開催回数（回）	55	58	55	66	60	65	60	75	60	50	定期開催の他に、個別でのブックスタート実施が3件ありました。	定期的な会場開催を維持しつつ、定期開催への参加が難しい方への対応を個別に行っていきます。	中央図書館
	C	3	家庭教育学級などでの読書関連事業の開催	公民館が主催する家庭教育学級などにおいて、家庭における読み語りなどの啓発を実施します。	定例おはなし会等の親子対象の読書関連事業数（事業）	14	12	14	16	16	14	16	15	18	19	公民館の児童・生徒地域参加事業、家庭教育学級、自主事業において、「おはなし会」等を実施しました。各公民館の読み聞かせサークルと連携し、乳幼児及びその保護者等を対象として絵本や紙芝居の読み聞かせを行いました。	より多くの館で「おはなし会」等を実施します。また、読み聞かせサークルと協議し、歌や手遊びを取り入れるなど内容の充実を図ります。	中央公民館
		4	家庭向けの読書事業の実施	さまざまな子育て支援事業で家庭に向けて図書や読書方法の紹介などの方策を検討し、具体化を図ります。	子育て支援事業等での読書活動の実施回数（回）		1	1	1	1	1	2	2	2	2	保健センターで実施している1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、2歳児歯科健診、育児相談の会場に年齢に合った本を置き待っている時間に親子で本に触れる機会を作りました。新型コロナウイルスの感染拡大の影響により感染予防のため令和2年2月から会場に本を置くことを中止しました。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、会場に本を置くことを中止したため再開は未定。今後は感染拡大の状況を踏まえて本に触れる機会を作っていきます。	健康課

平塚市子ども読書活動推進計画（第3次）実績報告【活動指標】

			事業名	事業概要	主な行動目標	H27	H27	H28	H28	H29	H29	H30	H30	R1	R1	R1年度実績	課題や今後の方向性	担当課
						目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値			
地域における子ども読書活動の推進 重点取組Ⅱ	D	5	子育て広場での読書活動の実施	市内の子育て広場にて、保育士による絵本や紙芝居の読み語りなどを行います。	実施広場での実施回数（回）	10	19	9	19	19	19	19	19	19	19	市内の「子育て広場」にて保育士、保育教諭が絵本、エプロンシアター、紙芝居、パネルシアターなどを使い、読み聞かせをしました。	「子育て広場」を主催する主任児童委員等と連携しながら読み聞かせを実施することで、親子で一緒に楽しむことや絵本の啓発につながりました。引き続き、主任児童委員等と連携し、読み聞かせを実施していきたい。	保育課
		6	子育て支援センターでの読書活動の実施	子育てアドバイザーがジョイフルタイムなどの時間で、手遊びや絵本の読み語りなどを行います。	子育て支援センターでの実施回数（回）	200	474	200	473	200	473	200	476	200	426	一日2回のジョイフルタイムで、手遊びや紙芝居、パネルシアター、読み聞かせなどを実施しました。	【方向性】大型絵本の読み聞かせや、パネルシアターなどを基本とした活動を引き続き行います。また乳幼児が対象のため、ペープサート等視覚を利用した教材を使い、演じ手に注目しやすい工夫を行うなど、より多くの親子に楽しんでいただけるように努めます。 【課題】絵本と初めて出会う親子が多いにもかかわらず、乳児向けの大型絵本が少ないことが課題です。	保育課
		7	開放保育等での読書活動の実施	地域の未就園児を対象にした開放保育などで、保育士やボランティアが読み語りなどを行います。	保育園、こども園での実施回数（回）	120	200	90	120	100	120	110	110	120	96	公立保育園・こども園（8園）で未就学児を対象として実施しました。	地域の子育て家庭へ遊びの場を提供する中で、読み聞かせを行うことにより、絵本の楽しさを知ったり、いろいろな絵本に親しむ機会になりました。引き続き読み聞かせを実施し、内容の充実を図りたい。	保育課
	E	8	公民館の子ども向け図書を活用	公民館の子ども向け図書を公民館サークル等と連携し、地域に広く周知し、活用に努めます。	子ども向け図書の活用を図っている公民館数（館）	24	24	24	24	24	24	24	24	24	23	「おはなし会」等において子ども向け図書を活用しました。また、公民館だよりにより子ども向け図書を紹介する記事を掲載しました。さらに、新規に購入する子ども向け図書の選定を各公民館の読み聞かせサークルに依頼しました。	引き続き「おはなし会」等において子ども向け図書を活用します。	中央公民館
		9	図書館と公民館との連携の促進	公民館への団体貸出や、公民館と図書館との共催による子ども向け事業の実施など相互の連携を促進します。	連携事業数（ブロック単位での事業も含む。）	2	3	4	7	5	6	6	5	7	5	神田公民館、横内公民館、北図書館との共催で、家庭教育学級「絵本クッキング」を実施しました。また、図書館から団体貸出される図書を公民館の図書室等に配架しました。	地域のニーズや特性を考慮しながら、図書館と連携して事業を実施します。	中央公民館
	F	10	こころと命のサポート事業での読み語りの実施	こころと命のサポート事業で、命の大切さ、尊さをテーマとした読み語りなどを実施します。	読み語り等を実施する地区数（地区）	2	2	3	3	3	12	3	7	4	8	地域の子ども読書活動推進協議会等と協働し、読み聞かせ等の活動を通じた命の尊さを伝える普及啓発に取り組みました。（令和元年度「いのちの尊さを伝える本」読み聞かせ活動実績：地区数8地区、延べ回数523回、延べ人数17087人）	取組が他地区へ広がるよう、協議会をはじめ、学校や保育園等と協力・連携し、命の大切さや尊さを伝える普及啓発を推進します。活動実績を提出しやすくなるよう報告様式の見直しを検討します。	福祉総務課

平塚市子ども読書活動推進計画（第3次）実績報告【活動指標】

			事業名	事業概要	主な行動目標	H27	H27	H28	H28	H29	H29	H30	H30	R1	R1	R1年度実績	課題や今後の方向性	担当課	
						目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
ボランティア活動支援 重点取組Ⅲ 子ども読書活動の推進	G	11	各中学校区協議会運営の弾力化	学校図書館ボランティアの負担感を軽減するため、構成団体等の弾力化を検討し、具体化します。	ボランティアがいる学校数（学校数）	43	40	43	37	43	37	43	37	43	39	休会していた2地区のうち、1地区が活動を再開しました。各中学校区子ども読書活動推進協議会の代表者会議を2回開催し、図書館の活用方法や委託金の使途等について、情報交換を行いました。	協議会運営における事務負担の声が少なくありません。協議会の運営で大変なことは何か、どのような形なら運営しやすいのか、各協議会の現状を把握し、検討する必要があります。	中央図書館	
		12	意欲的な活動に対する適切な支援と援助	図書ボランティアから随時相談を受けて適切な支援を行える体制づくりの検討や具体化を進めています。	意欲的な活動に対する支援への検討回数（回）	2	1	2	1	3	3	3	5	4	4	事業周知のためのチラシ配架や、事業実施のための図書館施設の貸出等、意欲的な活動に対して適切な支援を行いました。	図書ボランティアが実施する事業の支援を行うとともに、事務局として気軽に相談できる体制をつくり、引き続き適切な支援を行えるよう努めます。	中央図書館	
	H	13	子どもの家等での読み語りの実施	市内4館の子どもの家での読み語りなどの読書活動を実施します。	子どもの家等での読み語りの回数（回）	36	29	36	32	36	31	36	36	36	29	みなと子どもの家、山城子どもの家、大野子どもの家の3館で月に1回ずつ実施しました。天候不良で参加者がいなかった回や新型コロナウイルス感染拡大の影響により施設利用ができなかった月を除いて、29回開催しました。	絵本の読み聞かせ内容は、絵本のみではなく、エプロンシアターや紙芝居、ペープサートを盛り込むなど充実したものとなっていますが、参加者人数は毎年横ばいの状況です。そのため、今後は子どもの家や図書館へのチラシ配架、ポスター作成、ホームページ掲載などのPR活動支援をしていきます。	青少年課	
	I	14	ボランティア向けの講習会等の実施	ボランティア団体等への講師派遣や、ボランティア向けの講習会の開催などを行います。	講師派遣や講習会などの支援の周知回数（回）	4	11	4	12	5	11	5	11	6	8	広報ひらつか、図書館ホームページに掲載するとともに、子ども読書活動推進協議会代表者会議などでボランティアの方に直接周知しました。ボランティア養成講座の開催数が例年より少なかったため、実績値は減少していますが目標値を達成することができました。	講師派遣やボランティア養成講座はある程度認知されるようになってきました。新任の担当者や新規ボランティアの方へも周知するため、継続して行っています。	中央図書館	
		15	学校や関係機関等との協力強化	学校や関係機関等と連携し、ボランティア活動の機会の拡大や参加しやすい環境をつくります。	学校や関係機関等での検討回数（回）	4	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	市内43校の司書教諭、学校司書が参加する回において、「司書教諭、学校司書、ボランティアの連携」をテーマの一つとして情報交換や事例報告を行いました。	充実した学校図書館の整備に図書ボランティアの力は欠かせません。在校生、保護者等が気軽に参加できるような工夫や配慮が必要だと考えます。	教育指導課
		16	ボランティアと協働した事業の実施	中高生が保育園などでボランティアによる読み語りなどの協働した事業を実施します。	保育園、児童クラブなどでの実施回数（回）	10	10	9	9	9	9	9	9	9	8	3	職場体験学習での中高校生の受け入れ時に、園児への読み聞かせを体験してもらい、絵本を介して園児と中高校生の交流の機会を設けました。	中高校生が幼児に読む本を探すことが、絵本に触れる良い機会になりました。又読み聞かせの楽しさを体験できる機会になりました。今後も職場体験学習での読み聞かせを実施し、絵本を介した園児と中高校生との交流の機会に努めたい。	保育課
		17	ボランティアへの情報提供の促進	ボランティア支援に関する情報提供を促進します。	代表者会議・情報交換会等での提供回数（回）	4	4	4	4	4	5	4	5	5	5	5	全15中学校区の子どもの読書活動推進協議会の代表者会議を2回開催しました。また、図書ボランティアの交流のためのイベントとして「本読みマラソン」「あんどんを塗ろうin美術館」「県立図書館見学ツアー」を開催しました。	図書ボランティア向け講習会や、代表者会議で行っている情報交換・ワークショップ等について、図書ボランティアが求める情報や研修内容の最新のニーズを探っていく必要があります。	中央図書館

平塚市子ども読書活動推進計画（第3次）実績報告【活動指標】

		事業名	事業概要	主な行動目標	H27 目標値	H27 実績値	H28 目標値	H28 実績値	H29 目標値	H29 実績値	H30 目標値	H30 実績値	R1 目標値	R1 実績値	R1年度実績	課題や今後の方向性	担当課	
学校における重点取組Ⅳ 子ども読書活動の推進	J	18	幼稚園教諭への意識向上、啓発	読書に関する研修会や講習会、要請訪問等により幼稚園教諭等の読書活動に関する意識向上を図ります。	要請訪問等での読書指導の回数(回)	5	5	5	5	5	5	5	5	5	要請訪問での指導助言により、読書活動に対する教職員の意識向上を図りました。	幼稚園・こども園では毎日絵本の読み聞かせが行われており、各園の蔵書整備の支援や読み聞かせの実技研修を受ける機会を用意する必要があります。	教育指導課	
		19	保育園等での読書活動の実施	保育園、子ども園などでの絵本の読み語りなどを実施します。	読書活動を実施している保育園、子ども園数(園)	10	9	10	9	9	9	9	9	8	8	保育士、保育教諭、地域のボランティアによる読み聞かせを実施しました。「いのちの尊さを伝える本」のリストを活用し、読み聞かせに取り入れました。又親子で絵本に親しめるよう、絵本の貸し出しを実施しました。	引き続き、読み聞かせボランティアや保育士、保育教諭による読み聞かせを実施し、園児が絵本に親しむ機会を設けていきます。限られた予算の中での蔵書の充実が課題です。	保育課
	K	20	学校司書の支援の強化	学校図書館のニーズを調査、研究し、校内の協力体制づくりや運営のヒント集などの支援を具体化します。	研究会・検討会の回数(回)	3	2	3	2	3	2	3	3	3	3	各学校図書館の運営に生かすため、学校司書説明会では図書システムの基本操作に関する講習を行いました。また、連絡協議会では、「教育課程に位置付けた学校図書館の活用」についての講演を実施しました。	学校司書の雇用条件があり、研究会の実施回数が限られています。その中で、各学校での読書活動推進につながる効果的な研究会の実施に努めていきます。	教育指導課
		21	司書教諭、学校司書の情報共有、意見交換の充実	司書教諭、学校司書の学校図書館の運営や図書システムに関する情報交換や意見交換の場の充実を図ります。	情報交換会・意見交換会等の回数(回)	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	市内43校の司書教諭、学校司書が参加する打ち合わせ会を各1回、学校司書と司書教諭が参加する連絡協議会を1回開催し、学校図書館の活用や読書活動の充実について情報交換を行いました。	学校司書の雇用条件があり、研究会の実施回数が限られています。その中で、各学校での読書活動推進につながる効果的な研究会の実施に努めていきます。	教育指導課
	L	22	学校図書館(小・中)の蔵書の充実	学校図書館図書標準などに基づいた蔵書の整備をすすめます。	小学校の図書の充足率(%)	81.5	75.0	82.0	76.2	82.5	78.1	83.0	78.9	83.5	80.9	学校規模等に応じた予算のほか、各校一律の追加配当予算により図書や書架等の整備を行い、学校図書及び学校図書館環境の充実を図りました。	児童や教員のニーズに合った図書を購入しつつ、国が定めた標準冊数を早期に確保するとともに、古くなった図書を適切に整備し、学校図書館内の環境整備が必要となります。また、学校間での充足率の格差を是正するため、計画的な図書の整備が必要です。	教育総務課
					中学校の図書の充足率(%)	91.5	78.2	92.0	76.6	92.5	77.7	93.0	76.8	93.5	77.2	学校規模等に応じた予算のほか、各校一律の追加配当予算により図書や書架等の整備を行い、学校図書及び学校図書館環境の充実を図りました。	生徒や教員のニーズに合った図書を購入しつつ、国が定めた標準冊数を早期に確保するとともに、古くなった図書を適切に整備し、学校図書館内の環境整備が必要となります。また、学校間での充足率の格差を是正するため、計画的な図書の整備が必要です。	教育総務課
		23	教科等との連携の強化	学校図書館の環境整備を促進するため教科や学校行事と学校図書館の連携を推進します。	指標設定せず。											市内43校に「学校図書館ガイドライン」(文部科学省)を再周知しました。また、「新学習指導要領」の内容について確認し、学校全体で読書指導の改善・充実を図ることを周知しました。	司書教諭と学校司書以外の教職員にも学校図書館を活用した授業の有効性を理解してもらう必要があります。まずは、各校での学校図書館を活用した授業例等の情報交換を充実させていきます。	教育指導課
	M	24	読書計画の作成、読書の時間の充実	読書指導の充実を図るため読書計画の作成や読書の時間の確保に努めます。	読書計画を策定している学校数(校数)	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	小学校教育研究会図書教育部会及び中学校教育研究会学校図書部会において作成された各学校の読書活動計画をもとに、43校に配置された学校司書と司書教諭による指導が行われました。	各学校で作成された読書活動計画を定期的に見直ししていくとともに、計画に合わせた読書指導に学校全体で取り組むよう努めていきます。	教育指導課

平塚市子ども読書活動推進計画（第3次）実績報告【活動指標】

		事業名	事業概要	主な行動目標	H27	H27	H28	H28	H29	H29	H30	H30	R1	R1	R1年度実績	課題や今後の方向性	担当課		
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値					
図書館における重点取組読書活動の推進	N	25	大学図書館・高校図書館との連携事業の実施	大学図書館の蔵書の展示や高校図書館への事業の協力など、大学図書館・高校図書館との連携事業を実施します。	東海大、神奈川大等との連携事業数（事業）	3	3	3	4	3	4	4	4	4	4	4	神奈川大学図書館との交流会を開催し、情報共有をしました。また神奈川大学図書館のコレクションを借用し中央図書館で展示しました。図書館協議会委員を東海大学准教授に務めていただきました。東海大学、神奈川大学のPRコーナーを設け、周知を行いました。去年に引き続き、東海大学生のインターンシップ受入れを実施しました。	借用展示は日頃目にする機会が少ない資料のため、多くの方がご覧になっていました。今後は東海大、神奈川大学のPRコーナー自体の周知を工夫して実施していきます。	中央図書館
		26	大学・高校生のインターンシップ等の受入れ	高校生・大学生のインターンシップ等の受入れをします。	インターンシップ、ボランティア等の受入れ人数（人）	10	12	10	11	15	21	15	15	15	12	12	夏に実施するインターンシップで高校生が2人、2月に東海大学生を3人受け入れました。また、夏休みと冬休みの中高校生ボランティアに参加した高校生が合計7人でした。冬休みの参加者が少なかったことなどにより目標を達成することができませんでした。	引き続きインターンシップの受入れやボランティアの募集を実施していきます。ボランティアの募集については高校生が参加しやすいように日程や広報を工夫していきます。	中央図書館
	O	27	支援を要する子どもたちへのサービスの充実	点字資料、音訳資料、外国語資料の提供や移動図書館での訪問などのサービスを実施します。	来館出来ない人へのサービス貸出点数（点）	40,000	38,823	40,000	33,183	41,000	32,046	41,000	34,582	42,000	33,744	33,744	出前図書館の貸出回数と貸出冊数が増加しました。知的障がいのある人や日本語を母国語としていない人など、文字を読んだり理解することが苦手な人でもやさしく読めるよう工夫のされたLLブックの購入を積極的に行いました。	図書館から離れた地域に移動図書館や出前に来てほしいという要望は高まっています。引き続き、ステーションや車両の見直しを進めニーズに応えていきます。	中央図書館
	P	28	発達段階に応じたおはなし会の実施	0～3歳を対象にした赤ちゃんおはなし会と、3歳～小学生を対象にしたおはなし会を実施します。	おはなし会の実施回数（回）	160	155	160	158	160	146	160	164	160	143	143	今年度も継続して実施することができました。	定期的実施することで利用者に認知されています。今後も継続して実施します。	中央図書館
		29	子ども向け読書活動事業の実施	映画会や特集展示、一日図書館員体験など子ども向けの読書活動事業を行います。	子ども向け事業の実施件数（件）	140	145	142	144	145	148	148	161	150	156	156	子ども読書の日記念事業として児童を対象に「三目ならべ」、秋の読書週間には「さとう・しお・こしょう本」を行いました。昨年度好評だった本の福袋も行いました。	子ども読書の日や秋の読書週間の機会を捉え、子どもたちが参加する事業を行いました。参加型のイベントは子どもたちに自分では手に取らない本を楽しんでもらうきっかけとして子ども読書活動推進の効果が高いため今後も工夫して行っていきます。	中央図書館
		30	レファレンスサービスなどの充実	子ども向けの調べ物などのサービスの充実とサインや書架配置を工夫し子どもが本を探し易い館内整備をします。	一日図書館員で本の探し方が分かるようになったと答えた割合（％）	90	93	90	92	93	95.6	94	95.8	95	94.9	94.9	中央図書館で本の面出しを増やすなどの工夫をしました。また、児童担当者会議で各館の取り組みを共有しました。	子どもの発達段階に合わせた書架の配置やレファレンスサービスの充実を行います。	中央図書館

平塚市子ども読書活動推進計画（第3次）実績報告【活動指標】

			事業名	事業概要	主な行動目標	H27	H27	H28	H28	H29	H29	H30	H30	R1	R1	R1年度実績	課題や今後の方向性	担当課	
						目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値				
子ども読書重点活動の取組の推進	R	31	関係機関等と連携した新たな取組の実施	関係機関等との多様な連携を行い、読書活動のきっかけづくりを図ります。	新規に関係機関等と連携した事業数（事業）	1	1	1	2	1	3	2	2	2	3	なでしこ公民館（おばけの本）、高齢福祉課（認知症関連）、自主研究グループ主催のイベント（あおぞら図書館）に合わせた児童書を選定し貸出しました。	関係機関が主催するイベントに資料を貸出することで、図書館に来られない方へも読書活動のきっかけを提供することができました。今後も機会を積極的に捉え、関係機関との関係を深めていきます。	中央図書館	
	S	32	学校図書館の図書だよりなどの充実	児童・生徒・保護者等への読書活動の啓発のため学校図書館だよりを発行します。図書館等と連携し内容の充実を図ります。	図書だよりを発行している学校数（校）	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	市内43校で図書だよりの発行を行い、新着図書の紹介等を通して、読書活動の啓発を行いました。	今後も情報交換等を通して、各校で作成される図書だよりの充実に努めていきます。	教育指導課	
		33	図書館情報発信の充実	きいぶ・こどもきいぶを発行するほか、配布方法なども含めて効果的な図書館の情報発信の充実を図ります。	きいぶ、こどもきいぶなどの発行回数（回）	5	5	5	6	5	3	5	3	5	4	きいぶを1回、こどもきいぶを1回、こどもらぼーるを1回、子ども読書活動推進フォーラム参加者向けにすすめの本リストを1回発行しました。	目標を達成しませんでした。行動目標35に挙げたインターネットを活用した情報発信を充実させました。今後も利用者のニーズに合わせた情報提供を検討していきます。	中央図書館	
	S	34	子ども読書活動情報発信の充実	読書活動ネットワーク通信「LINK」を発行するほか、ボランティアとの協働による情報発信の充実に努めます。	読書ネットワーク通信LINKなどの発行回数（回）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	子ども読書活動ネットワーク運営委員会（10回会議を開催）の情報誌「LINK」を2回発行しました。	図書に関する情報や、各地区の活動紹介、平塚市図書館の事業報告等を掲載し、ボランティアとの協働により、様々な媒体を活用して情報を発信するよう努めます。	中央図書館	
		35	インターネット等を活用した情報発信の充実	図書館の子ども向けホームページの充実を行うほか、システム更新に合わせて新たな情報発信の方策などを検討します。	子ども向けホームページの更新件数（件）	12	14	12	12	12	12	12	12	39	12	93	子ども向けの本の紹介を定期的に更新しました。各館のイベントなどの取り組みをツイッターで積極的に発信しました。（実施回数93件のうち、ツイッター投稿回数34件）	今後も引き続き、図書館ホームページやツイッターを使い、子どもたちや子どもの読書活動に関わる方に向けた情報発信を行います。	中央図書館
	T	36	広報紙、報道発表などの情報提供の強化	関係機関等との多様な連携による新たな事業展開などの情報を、広報紙や報道発表などに積極的に提供します。	広報依頼等の回数（回）	13	13	13	16	13	12	13	12	13	12	本の楽しさや、図書や読書に関する催し物等の情報を「広報ひらつか」やタウン誌を通して提供しました。	本の楽しさについて広報誌等を通してより多くの方にとっていただけるよう、引き続き情報提供を行います。	中央図書館	
	U	37	子ども読書活動推進フォーラム等の啓発事業の実施	子ども読書の取組が行われていることをPRし、事業への参加や家庭の読書の契機づくりのため啓発事業を行います。	啓発及びそのPRの回数（回）	3	4	3	2	4	2	4	4	5	5	ひらしん文庫寄贈、生物多様性の本箱寄贈、第4次子ども読書活動推進計画について記者発表を行いました。また、子ども読書活動推進フォーラムとして親子での読書を楽しむイベントを2回開催しました。	普段図書館や読書に興味のない子どもやその家庭にも、図書館に足を運び読書の楽しさを知ってもらえるよう啓発事業を継続します。	中央図書館	